

## OCR スキャナ「HT-4155」にソータ機構付きモデルを追加

帳票排出時に細かな分類と高速搬送を実現



OCR スキャナ「HT-4155」ソータ機構付きモデル

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下、日立)は、OCR ソリューションの強化として、OCR スキャナ「HT-4155」に帳票排出時に細かな分類と高速搬送を実現するソータ機構付きモデルを追加し、12月1日から販売を開始します。

情報のデジタル化が急速に進む中で、OCR は伝票や帳票類の読み取りだけでなく、写真やイラストなどの画像入力もできる文書管理システムの入力デバイスとして利用するなど、多機能化が進んでいます。日立は、2003年11月に、大量・多種類帳票の一括混在入力や高精細(600dpi)な画像入力、フルカラー入力なども可能とした OCR スキャナ「HT-4155」を発表しました。

今回、帳票のより細かな分類と高速搬送を実現するため、新たにソータ機構を開発しました。OCR スキャナ「HT-4155」のソータ機構付きモデルの主な特長は以下の通りです。

### 1. 帳票排出時に細かな分類と高速搬送を実現

公共料金伝票や配送伝票、商品券などの読み取りや、サイズの異なる写真やイラストの画像入力など、大量・多種類の一括混在入力に対して、1台に14スタッカを備えた「ソータユニット」を接続することで、帳票の種類や任意項目の読み取り結果などに応じて帳票排出時に細かな分類を可能にし、約195枚/分<sup>\*1</sup>の高速で処理することができます。「ソータユニット」は、最大4連続が可能で、最大構成では基本装置を含め59スタッカによる分類が行えます。

\*1: A4 横長帳票・手書き数字 300 字、標準モード時

### 2. 帳票排出時の取り出し易さ、分類に配慮した設計

「ソータユニット」のスタッカの位置や間隔は、帳票を取り出し易い設計にし、ユーザーの利便性を高めています。さらに、各スタッカの設置角度を大きくし、帳票排出口には高速搬送されてくる帳票を帳票排出制御機構を設けることで、シートストッパ無しで小型帳票などの飛び出しを防止できます。これらにより、帳票へ添付される関連写真など、異なるサイズの用紙を同一スタッカへ分類させることも可能になります。

### 3. 高速バーコード読取機構(オプション)を提供

高密度バーコード(CODE128 EAN128 など)の読み取りは、高速バーコード読取機構をつけることにより、約3倍の速度で読み取りが可能となります。

### 4. 特殊なレイアウトの帳票読み取り精度を強化

自治体における地方税賦課処理の基礎データとして入力求められる年金一覧など、印字間隔や行間の狭い特殊なレイアウトを持つ帳票の読み取り精度を強化し、年金一覧識別(オプション)機能を提供します。

### 5. グリーン購入法適合製品

OCR スキャナ「HT-4155」は、ソータ機構付きモデルを含めてグリーン購入法特定調達物品の判断基準(低電力モード消費電力:12W以下)に適合しています。

なお、今回提供する製品は、ビジネス環境の変化に即応した柔軟かつ最適なシステム構築や運用の実現によって IT リソースの存在を意識させず、ユーザーがコアビジネスに集中できる環境を提供する日立のサービスプラットフォームコンセプト「Harmonious Computing」に基づいています。

#### 新製品の価格・出荷時期

製品名	価格(税込) <sup>*2</sup>	出荷時期
OCR スキャナ「HT-4155」ソータ機構付きモデル	1,617万円～	2005年1月末

<sup>\*2</sup>:ソータ機構接続支援のOCR スキャナ「HT-4155」基本部とソータユニット1台およびOCRソフトウェア「Friendly-OCR」の合計標準構成価格です。なお、上位PCの価格は含みません。

#### 製品ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/ocr>

#### 取扱事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ

RAID システム事業部 販売推進本部 販売企画部 【担当:安藤】

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号 大森ベルポートD館

電話:03-5471-2201(ダイヤルイン)

以上

添付資料

OCR スキャナ「HT-4155」ソータ機構付きモデル 仕様

< > : オプション機能 「 」 : オプション名称

項目		片面タイプ	両面タイプ
読取速度*1	最高速度 (長さ74mm帳票・活字数字10字)	約 550 枚/分(高速モード時)*2	
	A4 横長帳票・手書き数字 300 字	約 195 枚/分(標準モード時)	
帳票寸法(幅×長さ)		52×74 mm～305×420 mm ソータ機構利用時:74×74 mm～305×305 mm	
	ローテーション読み取り	可能(左右 90°)	
帳票紙質	用紙の種類	OCR 用紙/上質紙/普通紙/再生紙/シーリングはがき	
	ノーカーボン紙	A、C 紙< B 紙「ノーカーボン B 紙送り」>	
	裏カーボン紙	< 可能「裏カーボン紙送り」> *3	
紙厚 坪量(連量)		41～209g/m <sup>2</sup> (35～180 kg連量) ソータ機構利用時:64～209g/m <sup>2</sup> (55～180 kg連量)	
画像入力		可能(部分画像、全体画像)	
入力精細度	OCR 画像(文字認識用)	200dpi(線分を均一化处理された画像)	
	イメージ画像 OCR 画像と同時採取	< 100dpi/150dpi/200dpi/300dpi/400dpi/600dpi 「表マルチセンサ機構」> *4	
2値画像	ハーフトーン	< 可能(64 階調)「裏マルチセンサ機構」> *4	
多値画像	グレースケール	< 可能(256 階調)「グレースケール画像入力機構」> *5	
	フルカラー	< 可能(RGB 各 8 ビット)「カラー画像入力機構」> *5	
イメージ画像の3面採取		< 可能「表画像入力拡張機構」> *5*6 2 値画像と多値画像の同時採取が可能	
ドロップアウトカラー		赤/青/緑切替	
	多色刷り対応	< 可能「マルチドロップアウト機構」> *5	
異種帳票の一括混在入力		可能 大型/小型、厚紙/薄紙帳票および OCR 帳票/非 OCR 帳票(画像入力)の混在入力が可能*6	
ナンバリング	表面	最大 20 桁(1カ所印字)/最大 16 桁(2カ所印字)	
	裏面	< 可能「裏面ナンバリング機構」> 印字仕様は表面と同じ	
	特殊マーク印字	可能 ナンバリング領域が考慮されていない帳票の二重読取防止用 利用に際しては読み取りモードに制限あり	

二枚送り検出	透過光式	可能	
	変位センサ式	< 可能「機械式紙厚検出機構」>	
	超音波センサ式	< 可能「超音波式重送検出機構」*7 >	
ホッパ容量		約 100 mm (70 kg連量にて約 1,000 枚) B4 以上の帳票利用時は、約 50 mm (70 kg連量にて約 500 枚)	
	帳票継足し	可能*8	
スタッカ容量	アクセプト用	約 60 mm (70 kg連量にて約 600 枚) × 3 スタッカ	
	リジェクト用	帳票の種類別分類排出が可能	
	ソータ機構	14 スタッカ (各スタッカ約 50 mm (70 kg連量にて約 500 枚))	
	接続可能ユニット数	最大 4 連	
筐体寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)	基本装置	約 1,040 × 約 495 × 約 1,135 mm	
	ソータ機構	第 1 ユニット: 約 1,250 × 約 495 × 約 1,370 mm 第 2 ~ 4 ユニット: 約 1,100 × 約 495 × 約 1,370 mm	
質量	基本装置	約 150 kg	
	ソータ機構	第 1 ユニット: 約 220 kg 第 2 ~ 4 ユニット: 約 200kg/ソータ 1 台当り	
消費電力	動作時	約 540W	約 600W
		ソータ機構: 約 600W/ソータ 1 台当り	
	低電力モード時	12W 以下 (国際エネルギースタープログラム スキャナ基準 対応)	
		ソータ機構: 12W 以下/ソータ 1 台当り	
発熱量		約 1,944kJ	約 2,160kJ
		ソータ機構: 約 2,160kJ/ソータ 1 台当り	
接続仕様		USB2.0 (Hi-Speed)	

\*1: 読取速度は、上位 PC の性能によって変化します。本性能は、Pentium4 プロセッサ (2.4GHz) 搭載時の値です。  
また、当社テスト帳票による測定値です。

\*2: ターンアラウンド帳票など比較的小型で数字読み取りのみの場合、高速モードを利用できます。

\*3: 「裏カーボン紙送り」には、ノンカーボン B 紙送りの機能も含まれています。

\*4: 両面タイプでは、「裏マルチセンサ機構」も必要に応じて選択できます。

\*5: ご利用に際しては、「表 / 裏マルチセンサ機構」が搭載されている必要があります。

\*6: 両面タイプでは「裏面画像入力拡張機構」も必要に応じて選択できます。

\*7: 「超音波式重送検出機構」のサポート時期は、2005 年 1 月以降になります。

\*8: A4 横以下の帳票でのご利用を推奨します。

#### 他社商品名称等に関する表示

- ・Pentium は米国 Intel Corp. の登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---